

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2326
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	介護保険補助金等事業			

【事業全体概要】

事業概要	介護サービスを利用する（している）高齢者の安心や安全を確保するため、利用者及び介護サービス事業者に対し助成事業を行う。			
年度概要	介護保険利用者負担軽減事業費 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	介護保険事業費補助金交付要綱など

【事業の目的】

対象（何を）	介護サービスの利用者及び介護サービス事業者
意図（どのような状態にしたいか）	介護サービス利用者が安心・安全に暮らせるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
離島介護サービス提供促進事業補助金交付件数 / 人	件	0	0	9.5	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		離島への介護サービス提供事業所数	箇所	目標値 実績値	0 0	0 0	14 17	14
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	引き続き、対象事業所に対し協力依頼を行った結果、制度への理解が行き届き、目標を達成することができた。			(目標達成度) 121.4%	(得点) 35点			
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)	(得点)			

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	14,298	69,570	4,280	83,421
(事業費)	[千円]	6,814	54,516	4,280	83,421
(職員人件費)	[千円]	7,484	15,054	0	0

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	介護保険利用者負担軽減事業費 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金	4,280千円 0千円	総額	4,280	
			特定財源	国	0
				県	864
				市債	0
				他	0
一般財源	3,416				
令和 7 年度	介護保険利用者負担軽減事業費 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金	8,348千円 75,073千円	総額	83,421	
			特定財源	国	0
				県	77,646
				市債	0
				他	0
一般財源	5,775				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき施設整備事業を実施した。また、離島での介護サービス提供事業者に補助金を交付したほか、社会福祉法人等における介護サービス利用者のうち、生活困難者に対して利用額を軽減することにより、介護サービスを利用する高齢者の安心と安全を確保することができた。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

引き続き、助成の対象と成り得るもの、又は希望するものには、本市から直接若しくは介護サービス事業者を通じて周知を図り適正に事業を実施していく。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2326
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	介護サービス相談員派遣事業			

【事業全体概要】

事業概要	一定の研修を受けた登録相談員を介護サービス事業所等に派遣して、利用者等の話を聞き、相談に応じるなどにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図るもの。			
年度概要	相談員派遣 11人・20施設 連絡会議の開催（月1回）			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	介護保険法

【事業の目的】

対象（何を）	介護サービス相談員の派遣を希望する介護保険サービス事業所
意図（どのような状態にしたいか）	介護サービス利用者の日常的な不平、不満又は疑問に対応して、苦情に至る事態を未然に防止するとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
介護サービス相談員派遣受入事業所数	箇所	0	0	18	20	22

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		介護サービス相談員が受けた相談件数	件	目標値 実績値	0 0	0 0	120 148	144
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	介護サービス事業所に対する介護サービス相談員の派遣を実施し、当初の目標値を達成することができた。		(目標達成度) 123.3% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度) (得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	7,839	7,980	1,573	2,879
(事業費)	[千円]	355	453	1,573	2,879
(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	0	0

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	相談員派遣 12人・18施設 連絡会議の開催(月1回)	報償費 1,130千円 その他 443千円	総額	1,573	
			特定財源	国	606
				県	303
				市債	0
				他	361
一般財源	303				
令和 7 年度	相談員派遣 11人・20施設 連絡会議の開催(月1回)	報償費 2,224千円 その他 655千円	総額	2,879	
			特定財源	国	1,108
				県	554
				市債	0
				他	663
一般財源	554				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

介護サービス相談員が18事業所を訪問し、利用者の疑問や相談等に応じた。また、事業所職員と意見交換を行うことにより、介護サービスの質的な向上に寄与した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

相談員及び受入事業所数の増加に向けて、引き続き事業内容の周知啓発に取り組む。